

今週のビルマのニュース 2009年1月16日号【0902号】

今週の主なニュース：タイのビルマ政策、米国の次期国連大使の考え

・タイのアピシット首相は就任後初めて公の場でビルマについて発言し「欧米諸国もアジア諸国も(同国での)改革を望んでいるという点では一致している」と述べた。改革を進めるためにタイが具体的にどのような手段を講じるかには言及しなかった(12日付AFP)。カシット外相もビルマについて「環境・人権問題を考慮に入れ、ビルマ人もタイ人も同等に扱う」と述べている(9日付IPS)。アウンサン・スーチー氏が率いる国民民主連盟(NLD)は、首相の発言を世界中の民主主義支持者の意見を反映している、として歓迎した(14日付DVB)。

・次期国連米大使候補のスーザン・ライス氏は、ビルマ問題への取り組みについて米議会上院外交委員会からの質問に回答し「ビルマ独裁政権に圧力をかけるため、地域・国際社会にできることはまだある。複数の国々が制裁措置を課すことが望ましい」と述べた。

その他：タイがビルマからの難民を海に、ほか

・ビルマ当局は最大の都市ラングーンで警戒態勢を強め、主要な交差点に暴動鎮圧隊や警察を配置するなどしている。1月に入り反軍政のドラがまかれたことが原因とみられる(13日付イラワディ誌)。

・ビルマやバングラデシュからボートで脱出しタイやマレーシアを目指した「ボート・ピープル」数百人をタイ軍が保護せず、海に送り帰していたことがわかった。難民保護団体などがタイ政府に対応の改善を求めている。両手を縛られたままエンジンのない船に乗せられ、タイ軍の船に引かれて沖に出た後放置されたと語る生存者もいる。数百人が行方不明。ボート・ピープルの大半はビルマで市民権を与えられず抑圧されているロヒンギャ住民民族とのこと。この問題は来月のASEANサミットでも協議される(15日付BBC、13日付カラダン・ニュースほか)。

・米国財務省は15日、軍政に資金提供をしている企業14社と個人2人を新たに制裁対象リストに加えたことと発表した。米国の管轄権内にある対象者の資産が凍結され、米国人との金融・商業取引が禁止される。

ビルマへの政府開発援助(ODA)約束状況など

〔草の根・人間の安全保障無償資金協力〕
1月12日

シャン州ラショー、僧院学校建設、約724万円
シャン州ナムカン、僧院学校建設、約734万円

イベントなど

・在日ビルマ人共同行動実行委員会アクション - 国連事務総長に対し、一刻も早くビルマを訪問し、スーチーさんを含むすべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動(国連大学前、13~16日15~16時)

・日本ビルマ救援センター月例ビルマ問題学習会「ビルマ難民の第三国定住について」講師：中尾恵子(大阪ボランティアセンター、16日19時~)

・第61回カチン州の日記念式典 カチン州の日式典実行委員会・在日カチン民族民主化運動(みらい座いけぶくろ豊島公会堂、18日18時~)

・SEEDS Asia モルディブ・ミャンマー活動報告会 ~ 沿岸侵食・サイクロン被害からコミュニティを守る(西宮市国際交流協会、29日18時半)*要申込

・難民の第三国定住に関するシンポジウム 外務省主催、国際移住機関(IOM)共催(三田共用会議所、2月5日13時半~)*要申込

・ミャンマーの伝統系あやつり「ヨウッター・ポエー」~ シリーズアジアの人形芝居 part14 ~ 王族から庶民にまで広く愛されたミャンマーの華麗なる伝統芸能 7年ぶりの来日公演 現代人形劇センター主催(ラゾーナ川崎プラザソル2月7日15時、18時半。カスケードホールいきいきプラザ一番町B1階2月10日15時、19時。レクチャーデモンストラーション 東京ミッドタウン富士ゼロックス501会議室、2月11日14時、16時)*チケット発売中

・第55回ビルマ市民フォーラム例会(池袋・ECOとしま8階、2月21日18時~)

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165

今週のビルマのニュース 1月16日号(0902号)
作成：ビルマ情報ネットワーク
協力：ビルマ市民フォーラム

Eメールでの受信をご希望の方は、yuki@burmainfo.org にご連絡ください。